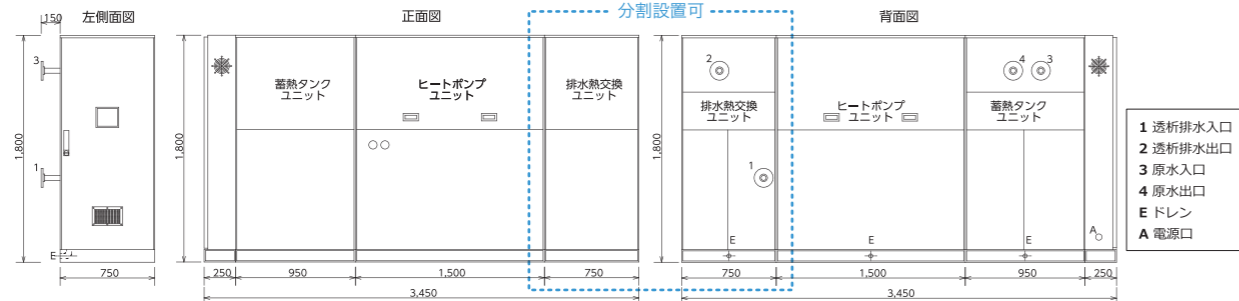


仕様

名称	透析熱回収ヒートポンプシステム Smart E System®	
型式	ZQD-2000S (屋外仕様)	ZQD-2000N (屋内仕様)
外形寸法	W3,450 mm × D750 mm × H1,800 mm ※架台は除く	
製品重量/運転重量	1,600kg/1,800kg ※架台は除く	
性能	加熱	69.0kW
最大消費電力		最大条件 16.5kW
電源 50/60Hz	動力用	三相 200V
	ブレーカー容量	125AF/100AT
配管接続	透析排水	入出口 HIVP 40 JIS 10Kフランジ止め
	原水	入出口 HIVP 40 JIS 10Kフランジ止め
	排水口	25A×3
塗装色	マンセル記号 5Y7/1半艶	

※能力、消費電力は右記の条件における値です。 加熱：原水入口温度 14℃、出口温度 29℃、透析排水入口温度 18℃、出口温度 12℃  
 ※メンテナンススペースは前後左右 1m 程度必要です。 ※補給水圧は減圧弁等により 0.37Mpa 以下にしてください。  
 ※仕様は予告なく変更する場合があります。  
 ※ヒートポンプユニットと排水熱交換ユニットは、分割設置可能です。  
 ※別途オプション：防振架台

【参考図面：ZQD-2000N(屋内仕様)】 寸法単位：mm



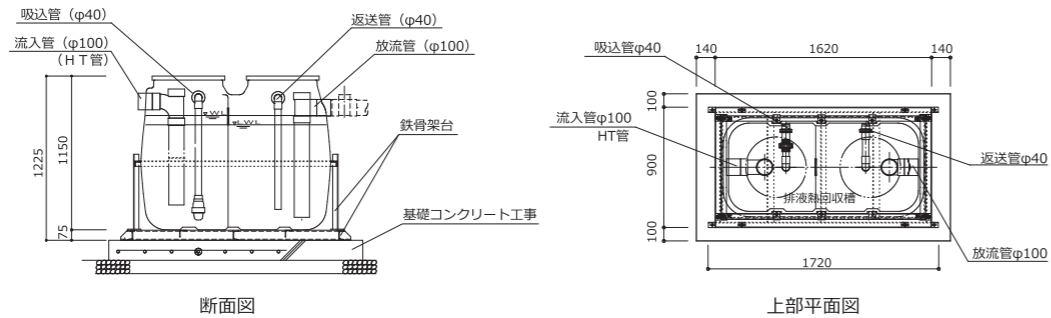
付帯設備

名称	透析排水熱回収槽 (単独設置)	
	地上設置型	地下埋没型
外形寸法	W1,720 mm × D900 mm × H1,225 mm (ボルト取付箇所 W100 mm 含む)	W1,500 mm × D740 mm × H1,150 mm
製品重量/運転重量	200kg (架台込) / 855kg	75kg / 730kg
有効容量	0.655 m³	
配管接続	流入管 (透析排水)	φ100 (標準 DV、熱湯利用時 HT)
	放流管 (排水処理装置へ)	φ100
	吸込管 (排水熱交換ユニットへ)	φ40 (排水熱交換ユニット入口に接続)
	返送管 (排水熱交換ユニットより)	φ40 (排水熱交換ユニット出口に接続)

※透析排水熱回収槽は、「地上設置型」と「地下埋没型」の2機種あります。  
 「地上設置型」の据付け時は、透析排水熱回収槽と配管部からの放熱防止用に保温材で覆う工事が必要となる場合があります。  
 「地下埋没型」の据付け時にかかる工事（掘削工事・埋戻し工事等）は、含まれません。

【参考図面：地上設置型】

寸法単位：mm



ゼネラルヒートポンプ工業株式会社

<https://www.zeneral.co.jp/>



本社統括営業本部・再生可能エネルギー研究所本部  
 本社工場・サービスセンター (遠隔監視センター)  
 東京支社  
 北海道支社  
 東北営業所  
 北信越営業所  
 西日本営業所  
 西日本営業所 九州事務所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 2-45-14 東進名駅ビル 7F  
 〒459-8001 愛知県名古屋市中村区大高町 己新田 121  
 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 2-2-13 久ビル 8F  
 〒003-0811 北海道札幌市白石区菊水 1 条 1-100-42  
 〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町 1-10-11 勾当台上杉通りビル 5F  
 〒939-8082 富山県富山市小泉町 40-2  
 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 3-3-11 新大阪プラザビル 206  
 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 8-1 JRJP 博多ビル 3F

TEL: 052-589-9010 FAX: 052-589-9011  
 TEL: 052-624-6368 FAX: 052-624-6095  
 TEL: 03-5642-7778 FAX: 03-5642-7780  
 TEL: 011-837-5101 FAX: 011-837-5102  
 TEL: 022-395-6738 FAX: 022-395-6739  
 TEL: 076-464-3086 FAX: 076-464-3087  
 TEL: 06-4807-7567 FAX: 06-4807-7568  
 TEL: 092-286-9867 FAX: 092-686-8761

Ver.007



ゼネラルヒートポンプ工業株式会社



ゼネラルヒートポンプ工業は、持続可能な開発目標(SDGs)に向けて取り組んでいます

透析熱回収ヒートポンプシステム  
**Smart E System®**

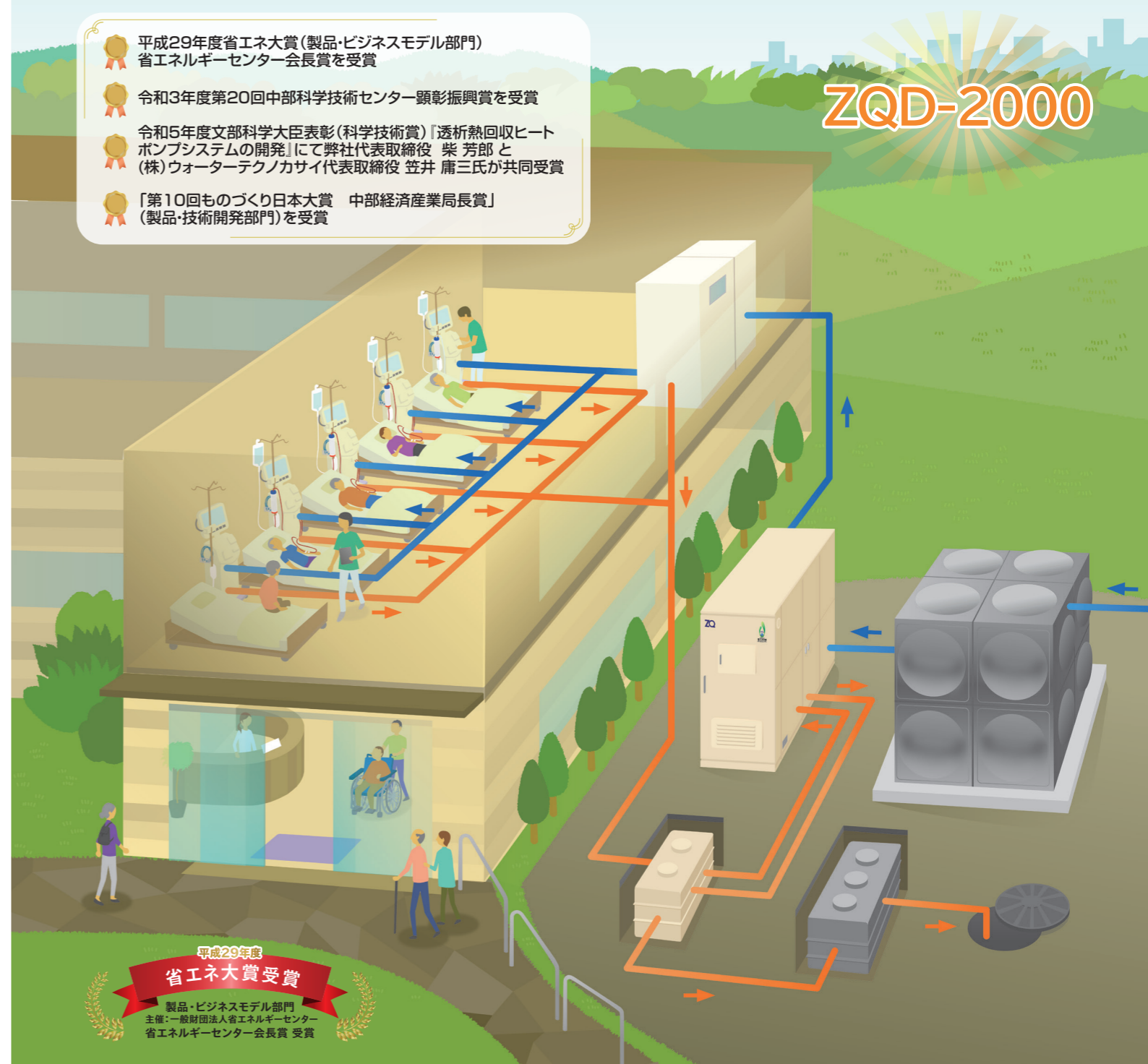
ゼットキューディー  
**ZQDシリーズ**

特許取得済

捨てていた熱を、クリニックの力に。  
 透析排熱を再活用。省エネとコスト削減を両立。

- 平成29年度省エネ大賞(製品・ビジネスモデル部門) 省エネルギーセンター会長賞を受賞
- 令和3年度第20回中部科学技術センター顕彰振興賞を受賞
- 令和5年度文部科学大臣表彰(科学技術賞)「透析熱回収ヒートポンプシステムの開発」にて弊社代表取締役 柴 芳郎 と (株)ウォーターテクノカサイ代表取締役 笠井 庸三氏が共同受賞
- 「第10回ものづくり日本大賞 中部経済産業局長賞」(製品・技術開発部門)を受賞

**ZQD-2000**



平成29年度  
**省エネ大賞受賞**  
 製品・ビジネスモデル部門  
 主催：一般財団法人省エネルギーセンター  
 省エネルギーセンター会長賞 受賞

## 透析熱回収ヒートポンプシステム

# Smart E System<sup>®</sup>

透析治療で使用された透析排液やRO濃縮水は通常、排水されていますが、実は貴重な熱源になります。

本システムは、透析排液やRO濃縮水を熱源とし、水冷式ヒートポンプとインバータ技術を駆使してRO原水を加温することにより、従来設備（電気ヒーター等）の稼働率を削減し大きな節電効果・CO<sub>2</sub>削減を実現しています。



### なぜ、ヒートポンプか？

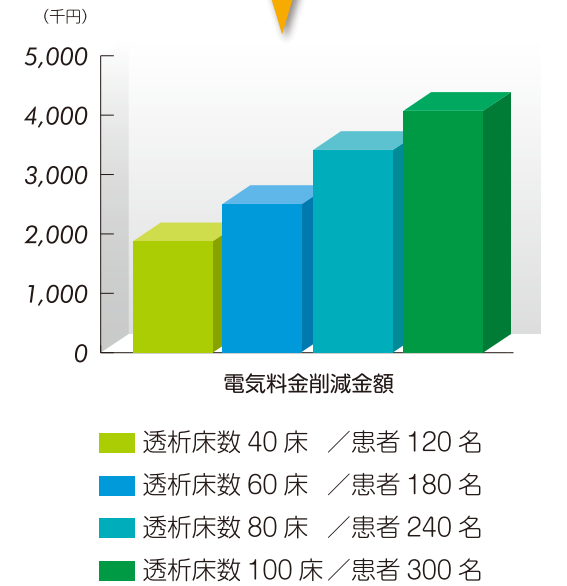
熱交換器のみで熱回収を行った場合、熱源以上の熱は得られず、原水供給流量が多ければ多いほど熱交換する時間が短くなり原水温度の上昇が低減されます。ヒートポンプは、エアコンと同様の原理で、冷媒ガスを圧縮し熱を移動することで電気ヒーターの約4倍以上の熱エネルギーが得られます。

### なぜ、透析でヒートポンプか？

透析治療は、RO装置や透析装置のヒーターで原水を約36℃に加熱するため、かなり多くのエネルギーを必要とします。本システムは、その透析排液やRO濃縮水の熱を利用するため、透析治療時間とシステム稼働時間の相性が良く、天候や時間帯等の影響を受けにくいシステムとなっています。

## システム導入による 電力料金削減の目安（年間）

電力料金削減率<sup>※2</sup>  
年間平均 約 **74%**



■ 算定条件

原水温度	18℃
RO入口温度	27℃
RO濃縮排水温度	27℃
透析排水温度	36℃
透析排水、濃縮排水利用率	100%
RO回収率	65%
電力使用料金単価	20.7円/kWh
電力基本料金単価	2,100円/kW

※1 上記の目安グラフは諸条件によって変わります。  
※2 ヒートポンプ稼働分と従来の加熱方式の比率

● **ZQD-2000 シリーズ**  
蓄熱タンク内蔵により稼働率UP

● **安全性**  
透析排水と原水の間は何層もの安全対策が施され、コンタミフリー

● **コスト削減**  
近年の電気代の大幅値上げに対し、電気ヒーターの稼働率を低減

● **SDGsの取り組み**  
CO<sub>2</sub>削減による環境負荷低減に貢献・医療における『SDGsの実践』

● **BCP対策**  
災害時などの発電装置の負荷軽減により燃料使用量を削減

## ZQクラウド

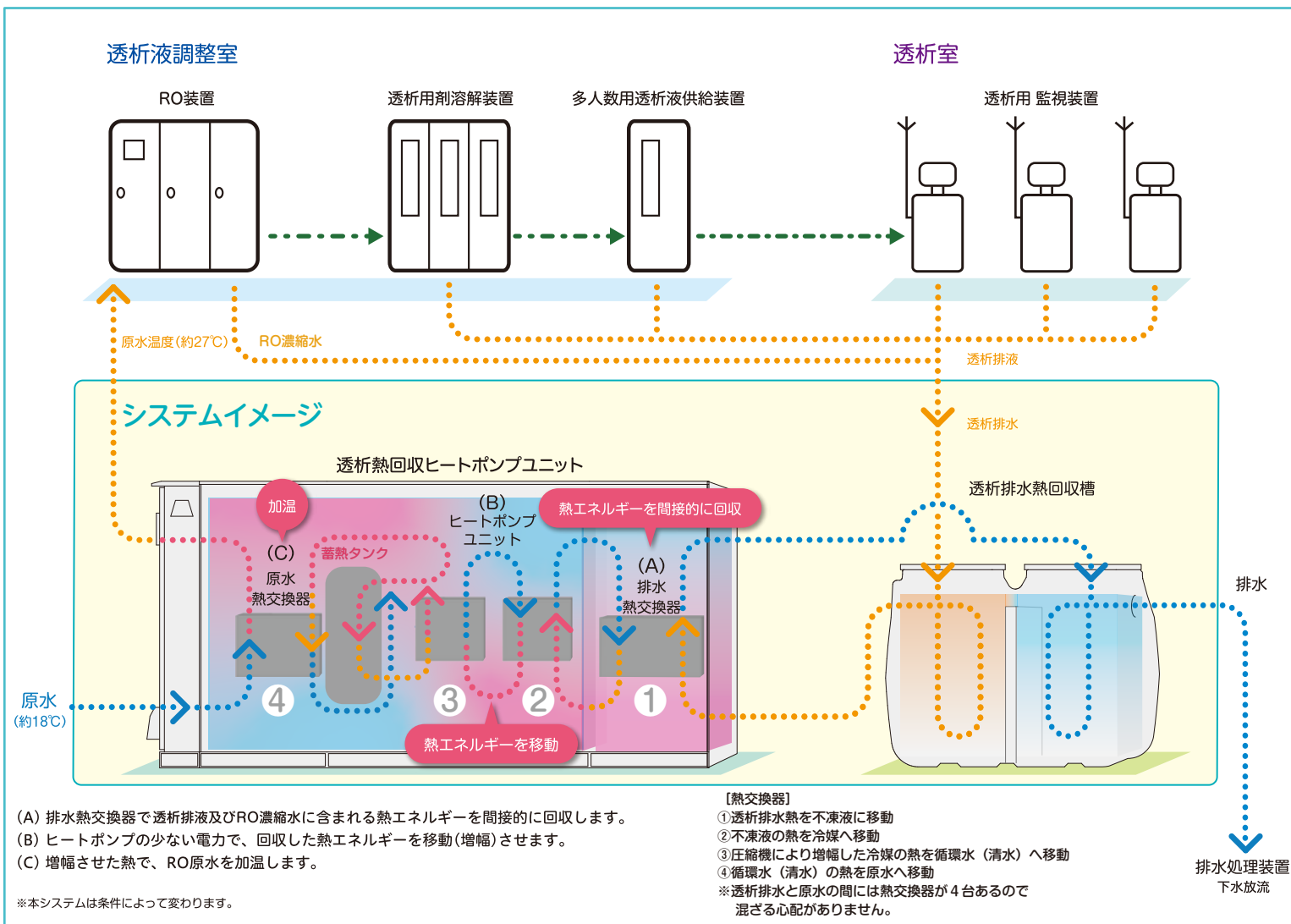
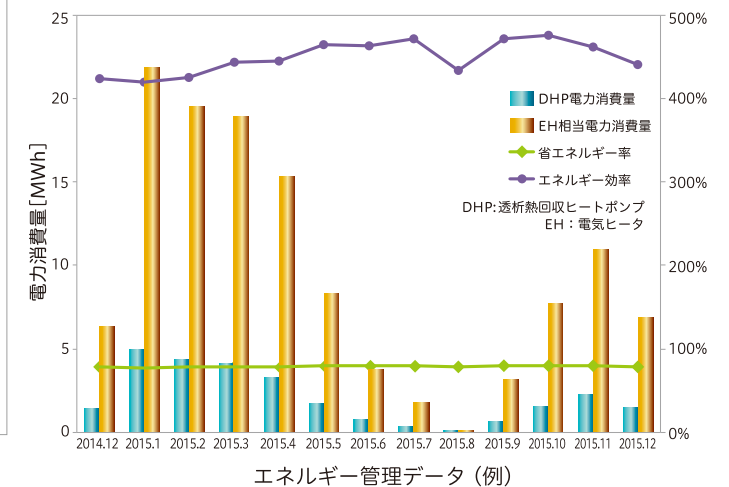
運用データをクラウドにアップロード

### ■ 某病院事例

<b>今日の電力削減状況</b>	【運転中】	<b>ただいまの運転状況</b>
削減した電気料金	8,319円	加熱能力 <b>72.2 kW</b>
消費電力量	80.3%	消費電力 <b>18.0 kW</b>
削減率		COP <b>4.4</b>
CO <sub>2</sub> 排出削減量	126 kg-CO <sub>2</sub>	SCOP <b>4.0</b>
消費電力量	68.0 kWh	
従来方式電力量	345.3 kWh	
<b>今月の電力削減状況</b>		<b>先月の電力削減状況</b>
削減した電気料金	141,342円	削減した電気料金 <b>652,313円</b>
CO <sub>2</sub> 排出削減量	2,134 kg-CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub> 排出削減量 <b>9,850 kg-CO<sub>2</sub></b>

※2024年5月7日現在 ※電気料金平均単価：30円/kwh

## 透析熱回収ヒートポンプの省エネ性



※本システムは条件によって変わります。